

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】令和6年9月13日(2024.9.13)

【公開番号】特開2024-105526(P2024-105526A)  
 【公開日】令和6年8月6日(2024.8.6)  
 【年通号数】公開公報(特許)2024-146  
 【出願番号】特願2024-78396(P2024-78396)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 3 5 / 7 6 ( 2 0 1 5 . 0 1 )

10

A 6 1 K 3 9 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 3 7 / 0 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 3 5 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 1 3 / 0 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 1 2 N 1 5 / 8 6 3 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

A 6 1 K 3 5 / 7 6                    Z N A

A 6 1 K 3 9 / 0 0                    H

A 6 1 P 3 7 / 0 4

A 6 1 P 3 5 / 0 0

20

A 6 1 P 1 3 / 0 8

A 6 1 K 3 5 / 7 6

C 1 2 N 1 5 / 8 6 3                    Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月5日(2024.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前立腺がんの治療又は予防のためのT細胞媒介免疫応答を誘導するためのワクチン組成物であって、ボックスウイルスF11プロモーターの制御下で5T4抗原ポリペプチドを発現する改変ワクシニアウイルスアンカラ(MVA、modified Vaccinia virus Ankara)ベクターを含み、  
前記ワクチン組成物の投与が、プライム-ブーストワクチン接種プロトコルの一部として実行される、前記ワクチン組成物。

40

【請求項2】

ボックスウイルスF11プロモーターが、内在性MVA F11プロモーターである、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項3】

ベクターが、配列番号1のアミノ酸配列を有するポリペプチドを発現する、請求項1又は2に記載のワクチン組成物。

【請求項4】

ベクターが、配列番号2の核酸配列を有するポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチドを発現する、請求項1又は2に記載のワクチン組成物。

【請求項5】

アジュバントをさらに含む、請求項1～4のいずれかに記載のワクチン組成物。

50

## 【請求項 6】

5 T 4 抗原ポリペプチドに対する T 細胞媒介免疫応答の誘導に使用するための、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のワクチン組成物。

## 【請求項 7】

T 細胞媒介免疫応答が CD 8 + T 細胞応答を含む、請求項 6 に記載のワクチン組成物。

## 【請求項 8】

$1 \times 10^6$  ~  $5 \times 10^8$  プラーク形成単位 ( p f u ) の用量で投与される、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のワクチン組成物。

## 【請求項 9】

$1 \times 10^7$  p f u の用量で投与される、請求項 8 に記載のワクチン組成物。

10

## 【請求項 10】

投与が、以前のプライムワクチン接種へのブーストとして提供される、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のワクチン組成物。

## 【請求項 11】

以前のプライムワクチン接種が、5 T 4 抗原ポリペプチドを発現するアデノウイルスを投与することによって提供される、請求項 10 に記載のワクチン組成物。

## 【請求項 12】

アデノウイルスが ChAdOx1 である、請求項 11 に記載のワクチン組成物。

## 【請求項 13】

アデノウイルスが、 $1 \times 10^8$  ~  $1 \times 10^{12}$  ウイルス粒子 ( V P ) の用量で投与される、請求項 11 又は 12 に記載のワクチン組成物。

20

## 【請求項 14】

アデノウイルスが、 $1 \times 10^9$  ~  $1 \times 10^{11}$  V P の用量で投与される、請求項 13 に記載のワクチン組成物。

## 【請求項 15】

アデノウイルスが、 $1 \times 10^{10}$  V P の用量で投与される、請求項 14 に記載のワクチン組成物。

## 【請求項 16】

免疫チェックポイント阻害剤化合物と組み合わせて使用される、請求項 1 ~ 15 のいずれかに記載のワクチン組成物。

30

## 【請求項 17】

免疫チェックポイント阻害剤化合物が、抗 PD 1 モノクローナル抗体である、請求項 16 に記載のワクチン組成物。

40

50